

マンガース捕獲用新規わな「A24 改良版」の有効性

Effectiveness of improved A24 to trap Mongoose

中川雅允 (八千代エンジニアリング (株)), 河内紀浩 (八千代エンジニアリング (株)),
新里和野 (八千代エンジニアリング (株))

Masanobu Nakagawa, Norihiro Kawauchi, Kazuno Shinzato

キーワード: マングース、新規わな、A24、沖縄、外来種対策

沖縄島北部地域では、マンガース対策事業によりマンガースの生息密度が低下する一方、従来の筒わなやカゴわなでは捕獲が難しい個体が確認され始め、新規捕獲手法の開発が急務となっている。そこで、構造が全く異なる新規わな「A24」の捕獲試験を行い、その効果について検証を行った。

「A24」(goodnature 製) は、ニュージーランドでネズミ類やオコジョなどの外来種駆除用に開発されたわなである。地面付近の木の幹に固定し、エサに誘引された動物が筒状の容器に頭を入れた際にストライカーが発射され、頭部を打撃して捕殺するもので、捕殺された動物はそのまま地面に落下する。ストライカーは CO₂ ガスで作動し、発射後は自動的にリセットされるため、CO₂ ガスがなくなるまで繰り返し (24 回) 捕殺できる。通常の「A24」では、マンガースに対してストライカーの打撃力が弱かった (死亡せずに逃亡した個体が約半数いた) ことから、本試験ではマンガース用に打撃力を強化した「A24 改良版」を使用した。

試験は、マンガースが高密度に生息する沖縄県東村慶佐次で行った。2015 年 11~12 月、林内にわな 4 台を 14 日間設置し、誘引餌はツナを用いた。わな作動 (ストライカー発射) 回数は CO₂ カートリッジに装着されたカウンターで記録し、作動状況は自動撮影カメラで撮影した。

試験の結果、わなの総作動回数 4 回のうち 3 回がマンガースによる作動で、3 回ともマンガースの死亡が確認された。残り 1 回の作動は、わな周辺に死体がなく、自動撮影カメラも未作動であったため、作動状況は不明であった。また、マンガースがわなを訪れた回数は合計 7 回で、わな作動率は 42.9% となった。

捕獲された 3 個体は、成獣オス 1 個体と亜成獣 2 個体、体重は 286~593g で、ストライカーの打撃による頭骨の陥没またはヒビが確認された。

以上のように、作動回数 3 回ともにマンガースの死亡が確認されたが、サンプル数が少なく、800g 以上の大型個体の捕獲もないことから、今回の「A24 改良版」によるマンガース殺傷能力は更なる野外試験にて検証する必要がある。また、わな作動率が 42.9% と、わな地点を訪れてもわなに誘引されないケースが確認されたことから、より誘引効果の高いエサ入れや誘引餌の開発が必要である。

なお、本試験は平成 27 年度沖縄県マンガース対策事業において実施された。